

様式第3号(第12条関係)
審議会等の会議の記録

会議の名称	令和4年度伊勢崎市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	令和4年7月15日(金) 午前10時00分～11時15分
開催場所	伊勢崎市役所 東館5階第1会議室
出席者	<p>(委員) 大下会長、中西副会長、川崎委員、尹委員、内山委員、大沢委員、備前島委員、多賀谷委員、重田委員、牧委員、吉田委員</p> <p>(本部長) 総務部長、企画部長、財政部長、福祉こども部長、長寿社会部長、産業経済部長、農政部長、都市計画部長、教育部長</p> <p>(説明員) 健康推進部副部長、健康推進部副部長(新型コロナワクチン担当)、健康管理センター所長、商工労働課長、企業誘致課長、文化観光課長、建設部副部長、住宅課長、中心市街地整備事務所長、交通政策課係長、教育部副部長、図書館課長</p> <p>(事務局) 企画部副部長、企画調整課長、企画調整課係長、企画調整課職員</p>
傍聴人数	2名
会議の議題	<p>(1) 会議運営に関する確認事項について</p> <p>(2) 令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について</p> <p>(3) 令和3年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について</p> <p>(4) 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p>
会議資料の内容	<p>[資料1] 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について(令和3年度)</p> <p>[資料2] 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業検証結果一覧(令和3年度)</p> <p>[資料3] 企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について(令和3年度)</p> <p>[資料4] 第2期総合戦略数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧</p>

<p>委員会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>1 開会</p> <hr/> <p>2 委員自己紹介</p> <hr/> <p>3 会長挨拶</p> <hr/> <p>4 議事</p> <p>(1) 会議運営に関する確認事項について</p> <p>○会議運営に関する確認事項について（企画部長から説明）</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>委員</p> <p>会議時間についてですが、事務局に問い合わせたところ概ね1時間程度で終了するとのことでした。</p> <p>事務局</p> <p>1時間程度で終了すると思います。この確認事項につきましては、本会議を設立した当初のものでありますので、実際の会議内容によって会議時間は前後します。</p> <p>(2) 令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について</p> <p>○資料1、資料2について（企画部長から説明）</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>会長</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応というだけではなく、疲弊している地域経済や家庭への支援にも交付金を活用しています。それに対して、効果があったのかを検証します。</p> <p>委員</p> <p>「コロナ対策認定店支援チケット発行事業」について、コロナ対策の観点からも、紙ベース以外の方法もとることが出来たのではないかと思います。今後の方向性について教えてください。</p> <p>事務局</p> <p>現状は紙ベースでのチケットの配布に留まっておりますが、カード形式での配布や、地域通貨などの活用について検討を進めているところです。</p> <p>委員</p> <p>「Made in いせさき医療・福祉・感染症対策機器及び物資等購入に係る事業者支援事業」に関連して、鍼灸院や接骨院など、医療に係る事業者に対してはどのような支援をしていますか。</p> <p>事務局</p> <p>「Made in いせさき医療・福祉・感染症対策機器及び物資等購入に係る事業者支援事業」は、按摩や針灸、柔道整復まで支援の対象としています。按摩や針灸の事業所に対して、2、3カ所程度支援の実績があります。</p>
-----------------------------	---

	<p>会長 「修学旅行キャンセル料等支援事業」について、キャンセルをした小中学校は全体の何割くらいになりますか。</p> <p>事務局 市内の全小中学校について、宿泊を伴う修学旅行はキャンセルしました。各校の実情に合わせて、宿泊を伴わない修学旅行を実施しました。</p> <p>会長 学生にとってコロナ禍というのはかなりインパクトが大きく、思い出が作れないというのが後々に響き辛いものがあります。キャンセルに際して親御さんに負担がかからないというのは素晴らしいと思います。タイミングの良い時に仲間同士で思い出を作る機会があればいいと思います。</p> <p>委員 「ワクチン接種者等割引協力店交付金事業」はどのくらいの店舗で実施しましたか。</p> <p>事務局 事業の登録店舗数は414店舗です。割引等サービスの事例を挙げますと、ハンドクリーム等のプレゼントや、飲み物一杯サービスなどを各店舗で実施して頂きました。</p> <p>委員 「コロナ対策認定店応援金事業」に関連して、市だけでなく県や国の支援金との合算だと思えますが、大きな金額が事業者支援されています。今後も支援は続く見込みということで、支援が過剰になっていると感じます。</p> <p>会長 過剰かどうかの判断は難しいところですが、ご意見として承りたいと思います。</p> <p>委員 「Made in いせさき医療・福祉・感染症対策機器及び物資等購入に係る事業者支援事業」の成果目標について、他事業と比べて低めに設定されているのは理由があるのですか。</p> <p>事務局 この事業は、市内で製造されているコロナ対策の製品、空気清浄機などを購入してくれた事業者に対しての助成金です。そのため、コロナ対策の設備が既に揃っている場合、改めて市内製品を購入しなおしてもらうのは難しいと考えました。</p> <p>会長 当初から50%程度を想定して事業を実施し、それを超える効果があったという見方ができると思います。</p>
--	--

委員

「コロナ対策認定店応援金事業」は県が実施する「ストップコロナ！対策認定制度」認定店の増加につながり、認定店は約400店から1,600店になったとのことでした。安心安全な環境づくりに協力する店舗を増やしてくれるのは非常に良いことなので、引き続き協力をお願いしたいと思います。

会長

全体として、市民の安心安全や事業者の事業継続、家庭の負担軽減など9つの事業を展開し、ヒアリング等を実施しました。総括すると、「一定の効果があつたと認められる」ということを創生会議における回答としてよろしいでしょうか。

(異議なし。創生会議としての回答を決定。)

会長

コロナ対策の支援を悪用する人もいなくはありません。基本的には国レベルで検討いただけと思いますが、市民からも意見があれば、担当の方で細かくチェックしていただく必要もあるかと思います。不公平感のないように事業を実施していただきたいということを、意見として付け加えさせていただきたいと思います。

(3) 令和3年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について
○資料3について(企画部長から説明)

【質疑・意見等】

会長

企業版ふるさと寄附金という事業については、昨年度の会議では取り扱っていなかったと思います。今回初めて取り扱うということによいのですか。また、事業はいつから始まったものですか。

事務局

この事業は令和3年度の12月から開始したものです。12月から3月までの約4か月間で、5つの企業から810万円の寄附をいただきました。

会長

今後もこの事業は継続して行い、寄附があつた場合は次回以降の創生会議でも効果検証を行うということによろしいでしょうか。

事務局

はい。寄附があつた際には次回以降も効果検証をお願いしたいと考えています。

委員

寄附をした企業5社について、市内、市外の別や業種などは回答できますか。

事務局

寄附できる企業は本社が市外にあることが条件のため、5社全て市外の企業です。ただし、事業所などが市内にある場合もあります。寄附を

いただいた企業名については公表しておりますので、申し上げます。

株式会社ヤマト様、ファームランド株式会社様、株式会社中西製作所様、株式会社三共様、白十字株式会社様の計5社から寄附をいただきました。

会長

2事業にたいして10万円と800万円を充当するというバランスもありますし、800万円を充当した事業は現在も継続して実施中というところもあります。そのため、効果の有無については、現状ではどちらとも言えないという回答になるかと思えます。各企業さんの伊勢崎市に対するご厚意を、効果的に活用していただきたいという意見を申し添える形にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし。創生会議としての回答を決定。)

(4) 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
○資料4について(企画部長から説明)

【質疑・意見等】

会長

「順調に進捗」と「概ね順調に進捗」というのはどのような違いがありますか。

事務局

コロナ禍の影響もあり、数値で機械的に評価を分けることが難しかったため、実情や展望等をもとにした各事業担当課の主観的な評価となっています。

会長

始めて会議に参加される方は分かりにくいと思いますが、指標には「累計値」と「単年度実績」があります。例えば創業相談件数の指標は単年度実績であり、令和3年度実績が令和6年度目標値を超えています。これを令和6年度まで維持する必要があります。一方、新規就農者数の指標は累計値です。目標値の累計70人に対して、令和3年度実績は93人ですから、この指標は既に目標値を達成していることとなります。これを踏まえて資料をご覧いただきたいと思えます。

また、実績値に「令和4年9月」等の日時が記載されているものがありますが、これは指標の性質上、令和3年度の実績値が令和4年9月に公表されるということを示しています。この表現については、「令和4年9月に発表」など少し見直しが必要かと思えます。

委員

新規就農者数の70人という目標は、今年ではなく、以前に設定したものであるということでしょうか。

会長

目標値は、計画を策定した時点で設定したものです。新規就農者数については、既に目標達成ということになります。

委員

新規就農者数には、雇用就農も含まれますか。

事務局

雇用就農は含まれていません。

委員

女性のためのおしごとフェアの参加者数について、自身や周りの会社で人手不足という声が上がっています。出産・育児と並行して働ける環境が整備されている企業には、オンラインでの新卒者の面接を積極的に行っているところもありますが、会社説明会等も含めて、オンラインを活用していく計画等がありますか。

事務局

女性のためのおしごとフェアについては、県と連携して事業を進めております。新しい生活様式への対応ということもありますので、オンラインの活用についても、県と連携して検討していきたいと考えています。

委員

鉄道利用者数の減少は、コロナ禍だけが原因ではないと思います。東武鉄道のりょうもう号をもっと走らせる計画はありませんか。秋葉原まで45分で行けるつくばエクスプレスもあり、つくば市は大きく発展していました。東武鉄道をもっと利用できないかと考えています。

事務局

鉄道関係の改善については、東武鉄道へ要望しているところですが、現時点では、本数を増やすような計画はありません。

委員

せっかくJRの伊勢崎駅とつながっていますから、そういったところも活用して、色々な地域から人を呼び込むのも大事ではないかと思えます。

事務局

りょうもう号については、東武鉄道へ話はしておりますが、利用者数の関係もあり中々難しいところとなっています。こういったご意見を伝えることはできるかと思えますが、中々難しいというのが現状です。

委員

企業誘致とセットで、東京から企業やオフィスを誘致できれば、活性化につながると思えます。

委員

利用者数が少ないという課題がありましたが、境方面には農地が多くあります。ここに企業だけでなく住宅団地を造り、人が増えれば、鉄道の本数も増えると思えます。企業誘致だけでなく、通勤圏として売り出す方向も考えていただければと思えます。農地の活用は国の許可が必要かと思えますが、境地区の人口や店舗の減少の話も聞いていますので、人口増加のためにも検討いただければと思えます。

事務局

現在は産業団地の造成を県と協働しております。住宅団地につきましては、ご要望・ご意見としてお伺いしたいと思います。

委員

東京方面へ行くのに便利な上尾駅の方では、団地なども出来てきました。人が少ないから鉄道の本数が増えないということですが、鉄道の本数が増えないから人が少ないとも言えます。鉄道の本数が整備されれば、人口も増えるということ働きかけていただきたいと思います。

会長

皆さんから頂いた鉄道関係のご意見は、まち・ひと・しごと地方創生の原点でもあり、人口を増加させようというのが大きな目標です。地方都市では、「しごと」を充実させないと、「ひと」が定着せず、東京へ流出してしまいます。そのため、産業団地を重視し、住宅団地を軽視しているわけではなく、歯車が回るようになってくると、住宅地開発も積極的に進めていく必要がでてくると思います。

今回の数値目標や重要業績評価指標は、計画期間中であり、評価をするべきものではありません。コロナとの共生という考えで事業を進めていく市の姿勢は示されましたので、それがうまく回っていけば、目標値の達成に近づいていくという期待をしたいと思います。各課には継続して努力して頂きたいということでまとめたいと思います。

資料4については、表現が分かりにくい部分がありましたので、私の方でお預かりして、誤解を生まないような形で修正したいと思います。

また、今回事業のオンライン化という意見がありましたが、今後はオンラインと対面のハイブリッドという事業形態をとっていかなければなりません。

コロナは悪い影響のみではなく、地方移住の促進や東京の人口減少という影響もありました。都市と田舎の要素を兼ね備える伊勢崎市は、有利な位置にありますので、そのあたりを積極的に進めていただくことが、今後地方創生の大きな柱の一つになると思います。そのあたりの良さをアピールしながら、目標値を達成できるよう事業を推進して頂きたいと申し添えて、まとめとしたいと思います。

5 その他

事務局

次回の創生会議につきましては、未定となっております。開催が決定しましたら書面でお知らせいたしますので、よろしくお願いたします。

6 閉会